

中 北 海 道

現代俳句協会

会 報

95号

令和4年
8月2日発行



現代俳句って何？

原 田 昌 克

ようやく政府も明確にウイズコロナに舵を切ったようだ。それで不思議と感染者が大きく増えることもなくそれなりに世の中も落ち着きを見せている。日本人的マナー意識が功を奏したのか。併せワクチンの効果もあるのだろうか。社会活動も大方の場面自粛から解放されてきたようだ。そしてそれぞれが心の片隅に不安を感じながらもかつての日常に少しでも近づこうと懸命に生きている。この原稿を書いている時点ほとんどのイベントで入場制限も解除されつつある。俳句の世界でも大会、句会の相対での開催が実現しており参加者の喜びが伝わってくる。

とここで再び句会に参加できるようになったのは嬉しいのだが、近頃喉に刺さった小骨のように小さな疑問がぶり返してきた。俳句を始めた頃から勧められるままに現代俳句協会という組織の中に身を置き現代俳句なるものを作り続けていると思いきや、来て。だが作れば作るほど、現代俳句なるもの自体が見えて来ない。一般にいわれる俳句と一体何が違うのだろうかという疑問。対極にあるのは伝統俳句だろう。有季定形などという形だけの問題だけなのだろうか。つい最近まで現代俳句協会のみ所属だったが、勧められて北海道俳句協会にも加えていただいた。どちらにいても私の作る俳句は変わらない気がするのだが。

あれこれ考えてもしようがないので素直に俳句をそして句会を楽しむことにする。そこで担当者の宣伝というわけではないが、八月十日は俳句研究交流句会の投句締切日。会員以外の方にも広く声がけし楽しんでほしいと思っている。まだ間に合うので会員諸氏にも句友のお誘いをお願いしたい。

第三二回中北海道現代俳句大会

瀬戸 優理子

R4.4.10(日)
於 かでる2・7

春の恒例行事である大会は感染対策に十分留意しつつ、五六名の参加者を得て行われた。冒頭の五十嵐秀彦会長の挨拶では、新型コロナウイルスに加えロシアのウクライナ侵攻により不安や恐怖が広がる現状に触れ、戦後の俳句弾圧事件を引き合いに出しながら「俳句のみならず平和でなければ文化芸術活動は成り立たない」とのメッセージが発せられた。

大会講演は松王かをり氏による「藤谷和子を語る―戦争句をめぐる―」。昨年出版の著書『最果ての向日葵―俳人藤谷和子に聞く』をベースに、樺太地上戦から本土引揚げを体験した和子さんが遺した「戦争句」を読み解く内容で進められた。御本人が語ったという「俳句は言い尽くせない、言い尽くさずに済む。だから救われる」の言葉は、

戦争のみならずわたしたちが向き合う日々の中で出会う哀しみや、やるせなさをどう俳句に落とし込み詩的昇華していくかの示唆に富むものだと感じた。

引き続き、第五八回現代俳句大会にて特別選者特選(中村和弘選)受賞の遠藤由紀子さんのお祝い、俳句大会の顕彰、第三二回中北海道現代俳句賞受賞作品「風花」の大河原倫子さんの顕彰が行われた。「未発表二〇句」と応募規定変更のあった中現俳賞について、五十嵐会長は「応募作が減ることなく、秀作揃いで充実、高いレベルの選考会ができた」と所感を述べた。

この他に大会席上では、ご遺族から寄贈を受けた山田緑光氏最後の句集『千の石』が参加者全員に配布されるサプライズもあった。

会場をガーデンパレスに移しての懇親会は三年ぶりの開催で三二名が出席。原田昌克氏の司会、齋藤雅美氏の乾杯の発声で和やかに進行。久しぶりの交流の場に皆の笑顔が溢れる二時間を過ごし、石本雪鬼副会長の音頭でお開きとなった。

第三一回
中北海道現代俳句大会 入賞作品

大会賞一位

さえずりの空にきれいな喉仏
札幌市 信藤 詔子

大会賞二位

倒木の痒いところに茸出て
札幌市 内野 弓子

大会賞三位

こんなにも明るい終焉銀杏散る
札幌市 永野 照子

大会賞四位

吊るされて水は金魚玉のかたち
札幌市 菅井美奈子

雪嶺賞

折鶴の腹の空つぼ終戦日
札幌市 佐々木えみ子

縦賞

長過ぎるマフラー野心ひきずりて
札幌市 齋藤 雅美

蒼花賞

暗算の途中雪虫湧いてくる
札幌市 倉部 仁子

草木舎賞

鮭が来るバス乗り継いで父が来る
帯広市 松原 静子

雪華賞

妖怪になる日ちかぢか吊し柿
江別市 長野 君代

佳作賞

空に八月海に八月灯をともす
札幌市 原田 昌克

踊場に鏡月光なら映す
恵庭市 青山 醉鳴

一位の実口に含んで鳥になる
室蘭市 宮川三保子

心中のごと手を握り蚊帳に入る
札幌市 石井 美髯

手鏡を抜けて飛び立つ秋の蝶
札幌市 平尾 知子

敬老パス一枚白鳥になるための
札幌市 鹿岡真知子

黙祷の少年一本の木となれり
札幌市 井尾 良子

古書店を閉づる貼紙山眠る
札幌市 遠藤由紀子

いずれ行く銀河系まで雪を踏む
札幌市 小野田あさみ

洗濯の途中のれんぎょうと思う
札幌市 黒田さち子

海峡へ秋の広がるハーモニカ
札幌市 亀松 澄江

波音を脱ぎ散らかして雪だるま
札幌市 中山ヒロ子

※一人一賞のため、賞外となった作品

札幌市 信藤 詔子
春愁に大きな椅子が置いてある

札幌市 永野 照子
文鎮を置かれし紙の淑気かな

札幌市 原田 昌克
尾氈骨あたりこりこりと根雪

札幌市 鹿岡真知子
饒舌な鮫鱈がまず吊るされて

札幌市 永野 照子
大枯野風の積もつてゆく身体



令和4年度中北海道現代俳句協会 「俳句研究交流句会」のご案内

<コロナ予防対策のため事前投句としますが状況によって紙上句会に切替えます>

- 1 日 時 令和4年8月27日(土)
受付開始 11時30分・開会 12時・閉会 15時40分
- 2 会 場 かでる2・7 820研修室
札幌市中央区北2条西7丁目 TEL 011-204-5100
昼食は各自お済ませ下さい(館内への食事の持込みは不可)
- 3 出句締切 令和4年8月10日(水)必着
会場開催用に1句+紙上開催変更時に備えさらに1句の計2句をご投句ください
- 4 投 句 先 原田昌克 〒002-8081 札幌市北区百合が原9丁目11の10
- 5 会 費 1,000円(事前投句時に定額小為替等同封のこと・返金不可)
- 6 問 合 先 組織活動部 原田昌克
TEL 011-773-0927・携帯 090-7513-0253
事務局 Fよしと TEL 011-641-1007

第三一回北海道現代俳句大会報告記

石井美髯

R4.6.19(日)
於 旭川トヨホテル

コロナの状況も漸く収束の気配となり、関係者には嬉しい、二年ぶりの開催となりました。

講演は現代俳句協会副幹事長の神野紗季さんによる『偶然性を喜び、一回性に賭ける』。古今の名句を引合いに「偶然出会った『今ここ』にこそ、一回きりの輝きがあり、反復されない価値が存する」という考察は、会場の多くの方が随所で思わず頷く名講演でした。

続く作品顕彰・講評は石川青狼東北北海道現代俳句協会会長の爆笑講評で始まり、二年越しに来道が叶った中村和弘現代俳句協会会長の止まらないお話まで、終始優しさに溢れ、会場は和やかな笑いに包まれました。大会一席の「北海道現代俳句協会連合会長賞」は松王かをりさんが受賞されました。おめでとうございます。

懇親会は神野さんの挨拶や松王さんの受賞スピーチで大いに盛り上がりを見せました。あちらこちらで久しぶりの再会を喜びあい、また神野さんが気さくにお話しや記念撮影に応じてくれたりと、愉しく素敵な時間になりました。

第三一回北海道現代俳句大会入賞作品

(関係分)

北海道現代俳句協会連合会長賞 札幌市 松王かをり
春キャベツざくざく侵攻の軍靴

北海道上川総合振興局長賞 札幌市 阿部 満子
雪掻いて掻いてこの世の裏に出る

旭川市長賞 札幌市 倉部 仁子
白菜の芯に汽笛のとほりけり

北海道新聞社賞 札幌市 小川 桂
閉じ込めた言葉がどつとふきのとう

朝日新聞社賞 札幌市 西村 山憧
左手はまだリラ冷えのまま

特別賞 札幌市 渡辺のり子
中村和弘特選

乳張りし日の胸騒ぎ花朧
中村和弘・神野紗希特選 札幌市 倉部 仁子
白菜の芯に汽笛のとほりけり

優秀賞 札幌市 永野 照子
白鳥来買ひたしてゐる深層水

佳作賞 札幌市 長野 君代
大花野座棺は揺れたことだろう

句会のご案内

「青のフロント」

偶数月第2土曜日
13～16時
かでの2・7
当季雑詠3句
問合先 五十嵐
TEL 011-852-7014
-*--*--*--*

「中北海道ゼロ句会」

不定期開催
問合先
村上海斗
ngh_zero_kukai
@outlook.jp

優秀賞
中空土偶春待つ風を孕みをり
札幌市 林 冬美

佳作賞
国境は流水の海軋み哭く
札幌市 伊奈 青人

第二八回東北北海道現代俳句大会入賞作品 (関係分)

佳作賞(つづき)
頭数に仏も入れて桜餅
札幌市 平川 靖子

三月は泣く日祈る日羽ばたく日
札幌市 小路 裕子

※一人一賞のため、賞外となった作品

三月の星の後ろが濡れている
札幌市 阿部 満子

死ぬための生き方いくつ蟬しぐれ
札幌市 西村 山憧

鮫鯨のふるえが奥歯に来て暗い
札幌市 小川 桂

第23回 中北海道現代俳句賞 作品募集 応募要領

- 1 応募作品 題名をつけ未発表20句 過去の応募作品の再応募は不可
- 2 募集期限 令和4年12月15日消印まで
- 3 募集地域 石狩、空知、後志振興局管内にお住まいの方
- 4 応募用紙 指定の用紙を使用 会員には会報95号に同封
会員以外の方は顕賞係へ返信用封筒に〒・住所・氏名を記載し切手貼付の
うえ指定の用紙を請求下さい(協会HPからダウンロードも可)
- 5 応募方法 応募料三千円を定額小替為又は現金書留にて指定用紙に同封
- 6 顕彰 令和5年4月の北海道現代俳句大会席上にて行う
- 7 作品送付先 〒061-2284 札幌市南区藤野4条5-19-6 菅井美奈子方
中北海道現代俳句協会 組織活動部行
- 8 選者 五十嵐秀彦・石川美智子・瀬戸優理子・永野照子
松王かをり・横山いさを・渡辺のり子 以上7氏
- 9 問い合わせ先 会長 五十嵐秀彦 TEL 011-852-7014
顕彰係 菅井美奈子 TEL 011-592-6426

礎

草階白影子

略歴 大正一四年、昭和四六年、享年四七歳、空知管内月形町生まれ。市立札幌一中時代より作句。昭和二〇年中學を仮卒業し入隊、樺太上敷香で終戦。復員後放射線技師。二六年「葦牙」入会。三〇年同人誌「車軸」を、三五年「ソノ（ガ）ンマー」を創刊。「北海道同人誌会」を結成、「新俳句人連盟」「道標」参加。現代俳句協会会員、北海道文学館常任理事。四二・四三年「北海道俳壇史年表」を發表。四七年「草階白影子遺句集」上梓。

犬交る芽木にもなにか言わねばならぬ
雪解日々俘虜の圧感亡じて十年
リラ匂う雲多き夜のデモへ妻と
戦後ながし吹雪の底に土着の詩
友去つて久し野面のこぼれいも

辻脇 系一 抄出

〔青のフロント〕 佳句抜粋

行列と日脚がのびるコロケケ屋

角田 萌

修復の春平安の仁王像

石本 雪鬼

クリップを延ばして一本の春日

五十嵐秀彦

春の風は翔けてゆくのにさるるるるん

高橋 朴全

幹事会報告

R4.5.19(木)かでの2・7 540室 議題は以下

- 1 第31回中北海道現代俳句大会報告(事業部)
- 2 令和3年度俳句研究交流句会(組織活動部)
- 3 会報95号(広報部)
- 4 三役・顧問・選者の会(事務局)
- 5 その他・新幹事増強の件(事務局)

出席者 五十嵐・石本・亀松・Fよしと・阿部・青山・遠藤・金子・近藤・菅井・瀬戸・中田・林・原田 以上14名

R4.7.14(木)かでの2・7 620室 議題は以下

- 1 第31回北海道現代俳句大会報告(事務局)
- 2 会長・事務局長会議報告(会長)
- 3 令和3年度俳句研究交流句会(組織活動部)
- 4 会報95号発行(広報部)
- 5 中北海道現代俳句賞(組織活動部・顕彰係)
- 6 第32回北海道現代俳句大会(事業部)
- 7 三役・顧問・選者の会(事務局)
- 8 その他・新幹事(廣田)紹介(事務局)

出席者 五十嵐・石本・亀松・Fよしと・阿部・青山・遠藤・金子・近藤・鹿岡・菅井・瀬戸・中田・林・廣田(新) 以上15名

第32回北海道現代俳句大会のご案内 (主管・中北海道現代俳句協会)

- ◇日 時 令和5年6月11日(日)13時より
- ◇会場 ホテル札幌サンプラザ(北区北24条西5丁目) TEL 011-758-3111
- ◇講演 堀田季何氏 俳誌「楽園」主宰・現代俳句協会IT部長
2021年度芸術選奨文部科学大臣新人賞・第77回現代俳句協会賞
- ◇演題 「未定」 ◇大会会費 1,000円(当日文書費)
- ◇懇親会 大会終了後同ホテル内にて開催 会費6,000円
- ◆大会出句については会報96号にて改めてご案内致します。
みなさまお誘いあわせの上、ご投句・ご参加くださいませ。

会員の 当会会員・安田中彦氏が小説「征服者／霊廟の前で」を上梓され
出版物の ました(非売品)。お読みにになりたい方は以下までメール下さい。
ご案内 soyo07soyo01@ybb.ne.jp

ある日、会長からインタビューをしてくれという話が来た。頼まれごとは断らない主義なので、二つ返事で自分なんかでよければと言ってしまふ。でも困った。題材が難しすぎる。新しい俳句という大胆で大雑把な切り口の内容を、どのように質問すればいいのか本当に迷った。なんとか質問内容をまとめたが、今度は別の問題が。動画を30分程度に収めてくれというオーダーだ。頼まれごとは断らない主義の僕は、無理ですと即答した。30分足らずで、いいインタビュー動画になるかどうか不安だった。そこで僕は、30分程度の程度という曖昧さに着目し、30分程度は±15分くらいは余裕があると自分に言い聞かせることにした。初めてやる動画編集に苦戦しながらも1秒単位で動画を削ったが、ギリギリ1時間を切るくらいが限界だった。俳句のデジタル化も進んでいるが、座の空間をデジタルに変換するのがこんなに大変だとは思わなかった。

地区協会会長インタビュー第9回 <https://gendaihaiku.gr.jp/news/news-9520/>

会員動向

〈入会〉

・大江 那果

・角田 萌

〈東北北海道より移動〉

・中村きみどり

〈退会〉

・有田 裕子(逝去)

・津坂 圭子

会員数 112名

(令和4年6月30日現在)

中北海道現代俳句協会
会費納入を御願います
年会費2千円の振込をお忘れなく。
手数料もご負担ください。

発行人 五十嵐 秀彦

発行所 中北海道現代俳句協会

〒064-0952 TEL 011-641-1007

札幌市中央区宮の森2条8丁目1-18

F よしと方

編集人 青山 酔鳴

〒061-1354 TEL 090-3398-3457

恵庭市島松旭町4丁目9-1

◆事務局だより

現代俳句協会では五月より会員増強委員会という部門を立ち上げました。中北海道からはわたしも委員として参加しています。協会全体の会員数が五千人を割るといふ危機感からの発会です。中北海道でも青のフロントや俳句研究交流句会をはじめ、会員各位が参加されている各句会などで、未加入の方に積極的に入会をお勧め下さいますようご協力をお願いいたします。長年中北海道の幹事として活動された有田裕子さんが亡くなられました。心よりご冥福をお祈りします。大会準備の際のポテトサラダの差し入れが思い出されます。中止していた句会も再開しましたがみなさま今後とも基本的な予防管理を怠らさずお過ごしください。

(Fよしと)

編集後記

大会も、久しぶりの懇親会も無事に開催されました。インバウンドの受け入れも再開され今後も油断はできませんが、少しずつ戻る日常にはやや安堵の思いです。俳句甲子園地方大会には旭川実業高校が初出場、全国でも大規模な会場となりました。優勝の旭川東に加えて、投句審査で旭川実業も本選出場に。八月二〇日からの対戦が楽しみです。

長年当会幹事としてご尽力頂いた有田裕子さんが逝去されました。

真雁来て空も湖も点描す 有田裕子

一人一句集へのご投句が最後となりました。これまでのご厚情に深く感謝し、心よりお悔みを申し上げます。

(酔鳴)